

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2005-273708(P2005-273708A)

【公開日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-039

【出願番号】特願2004-84857(P2004-84857)

【国際特許分類】

F 16 K 1/00 (2006.01)

F 16 K 31/122 (2006.01)

【F I】

F 16 K 1/00 E

F 16 K 31/122

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月28日(2006.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力ポートに連通し前記入力ポートの流路方向と垂直に形成された弁孔と出力ポート連通部とが設けられた弁本体を有する流体制御弁において、

前記弁孔の出力ポート連通部側の端面における前記弁孔の断面積をS1とし

前記出力ポート連通部の断面積をS2としたときに、

S1 : S2 = 1 : 3 . 3以上が成立することを特徴とする弁本体を有する流体制御弁。

【請求項2】

請求項1の流体制御弁において、

前記端面における前記弁孔の断面の外周は円に形成され、

前記端面における前記出力ポート連通部の断面は、前記外周と同心円の環状に形成された第1部分と、

前記第1部分の外周の所定の位置における接線により前記出力ポートの流路内壁の端部と直線で繋がるように外周が形成された第2部分とから形成されることを特徴とする流体制御弁。

【請求項3】

請求項1または請求項2の流体制御弁において、

前記入力ポートの流体供給口から前記弁孔の入力ポート側端面までの流路が、略円筒形状に形成されることを特徴とする弁本体を有する流体制御弁。